

ビワ生育情報

千葉県
平成21年6月号

平成21年5月の気象

平成21年5月の半旬別の気象は表1に示した。平均気温は第6半旬を除く全ての半旬で平年を上回った。月平均気温は18.5で、平年より0.7、前年より1.3高かった。

降水量は第1及び第6半旬で平年を上回り、月合計は192mmで、平年の1.1倍、前年の71%であった。

日照時間は第1及び第3半旬で平年を上回り、月合計は165時間で、平年の89%、前年の1.1倍であった。

表1 平成21年5月の気象 (暖地園芸研究所)

半旬	気温()			降水量(mm)			日照時間(時間)		
	本年	平年	前年	本年	平年	前年	本年	平年	前年
1	18.1	16.5	18.2	44	21	44	35	30	8
2	17.9	17.2	16.6	28	29	23	26	30	37
3	18.3	17.6	12.2	0	40	67	34	30	12
4	18.9	17.7	18.0	3	28	65	21	30	29
5	19.1	18.4	19.9	20	31	35	20	31	34
6	18.6	19.0	17.9	98	29	39	29	36	28
平均/計	18.5	17.8	17.2	192	178	272	165	186	147

7月の作業(果実の発育は次ページ)

7月に入ると梅雨も明け、本格的な夏を迎える。収穫後の弱っていた樹は勢いを取り戻し、夏枝の伸長が盛んであるが、根の伸びは鈍くなる。7月の作業は夏の乾燥期に向けて草刈り、敷き草、カミキリムシの防除がある。

草刈り

梅雨明け時期に園内の草刈りを行う。高温乾燥期に草を生やしておく、草に水分がとられ、土は乾燥状態になりやすい。土が乾燥すると花着きはよくなるが、過度の乾燥は樹を弱らせる。草刈りを行い、土の乾燥防止のために刈り草は樹冠下に敷く。

カミキリムシの防除

カミキリムシはリンゴ、イチジク、クワ、ビワなどを加害する枝幹害虫で、ビワに寄生するカミキリムシはクワカミキリが多い。体長は4cm位、体は黒色地に暗黄色の短毛が密生している。幼虫は枝幹中に食入し、木質部を食べて育ち、枝の中心部を食い荒らすため、食害を受けた枝は折れやすくなり、甚だしい場合には枯死する。また食入部の傷口からがんしゅ病が感染することがあるので要注意である。成虫は産卵のために、7～8月に現れるので、朝夕の活動の鈍いときに捕殺する。幼虫は食入穴から虫糞を出しているのも簡単に見つけることができるため、穴から針金などを入れてつき殺す。また卵は見つけしだい

つぶす。

果実の発育

6月1日現在のビワの果径は表2に示した。横径は「楠」が4.58cm、「大房」及び「田中」は3地区の平均でみるとそれぞれ5.27cm、4.75cmであった。本年の横径は3品種共に平年より5～7%、前年より2～10%大きかった。

縦径は「楠」が4.94cm、「大房」及び「田中」は3地区の平均でそれぞれ5.53cm、5.21cmであった。本年の縦径は3品種共に平年より5～9%、前年より5～10%大きかった。

果径指数は「楠」が0.93、「大房」及び「田中」は3地区の平均でそれぞれ0.95、0.91であった。3品種共に平年及び前年と同じか低かった。果形は「楠」及び「大房」が平年よりやや縦長傾向であった。

着色程度は「楠」が3.7、「大房」及び「田中」は3地区の平均でそれぞれ3.8、2.1で、3品種共に平年及び前年より進んでいた。

暖地園芸研究所では、5月下旬から早生種の収穫が始まり、「楠」は6月1日に収穫が終了し、平年より7日、前年より9日早かった。6月1日現在「大房」は収穫中、「田中」は収穫に至っていない。

1～4月の気温は平年より高く経過し、6月時点の果実の発育は3品種ともに平年より進んでいる。本年の着花房率は平年より多かったが、一部では寒害の被害がみられたために、着果量は平年並である。

本年の果樹カメムシ類の発生は、南房総市他県南地域で平年並であるが、今後の発生予察情報を参考にする。また、カメムシの発生の多い園では、ビワ園への飛来に注意を要する。

表2 果実の発育（6月1日の果径）

品 種	調 査 地	横 径 (cm)			縦 径 (cm)			果径指数			着 色 程 度		
		本年	平年	前年	本年	平年	前年	本年	平年	前年	本年	平年	前年
楠	暖地園研	4.58	4.38	4.47	4.94	4.69	4.70	0.93	0.94	0.95	3.7	3.0	3.1
大 房	青 木	5.15	5.01	5.02	5.31	5.12	5.04	0.97	0.98	1.00	3.9	2.9	2.9
	南 無 谷	5.19	4.97	5.12	5.52	5.10	5.17	0.94	0.98	0.99	3.9	3.0	3.0
	暖地園研	5.46	4.90	5.15	5.76	5.05	5.33	0.95	0.97	0.97	3.7	2.7	2.6
	平 均	5.27	4.96	5.10	5.53	5.09	5.18	0.95	0.98	0.98	3.8	2.9	2.8
田 中	青 木	4.81	4.46	4.38	5.30	4.94	4.88	0.91	0.90	0.90	2.3	1.8	1.2
	南 無 谷	4.64	4.39	3.91	5.13	4.84	4.31	0.90	0.91	0.91	1.6	1.7	1.0
	暖地園研	4.79	4.46	4.60	5.21	4.89	4.99	0.92	0.91	0.92	2.4	1.5	1.1
	平 均	4.75	4.44	4.30	5.21	4.89	4.73	0.91	0.91	0.91	2.1	1.7	1.1

果径指数：横径 / 縦径

着色程度：1(未着色)～4、5(完全着色)

平年：1986年～2008年の23年間の平均、ただし着色程度は1999年～2008年の10年間の平均

【生育情報の問合せ先：千葉県農林総合研究センター 暖地園芸研究所 果樹研究室 電話0470-22-2961】

果樹の生育情報は「ちばの農林水産業」の「生産技術に関する情報」でもご覧いただけます。

<http://www.pref.chiba.lg.jp/nourinsui/>